今年も小学生の租税教育に貢献！

（社）八雲地方法人会今金支部



地域振興を目的にボランティア活動や、租税教育活動として税の書道展を開くなど、多様な活動を行っている（社）八雲法人会今金支部では、毎年、町内の小学5年生（複式校は４・５・６年生）に税の啓発用品を贈っています。

これは、小学生から税金について関心を深めてもらおうと、同支部の社会貢献部会の螺良考司理事が中心となって行われており、11月４日、岡本優支部長が教育委員会を訪れ、中島教育長に税の啓発用マンガ本と下敷き、それぞれ73冊を手渡しました。

性教育は家庭の仕事です

こころの健康づくり講演会



子どもの育ちを応援するため、手作りの教材を使いながら地域へ出向き講演などを行っている、八雲総合病院の助産師貴田記子氏と看護師川村勝枝氏を講師に招き「いのちを大切にできる心とからだの健康とは」と題した講演会が開かれました。

川村氏は「自分の子どもに、男の子と女の子の体のしくみや、成長の違いなどをきちんと伝えることが大切」と話し、貴田氏も「性教育は答えのない教育。様々な考え方があるため、親しかできない部分が多くあります。」など家庭での教育の重要性を訴えました。

小学生が枝打ち作業に挑戦！

木とのふれあい体験ツアー







森づくりの必要性や、地材地消の理解を深めることを目的とした「木とのふれあい体験ツアー（主催：ひやま「木育」推進実行委員会）」が11月15日行われ、町内外から集まった子ども達が、木とのふれあいを楽しみながら、木の生長のしくみなどを学びました。

総合公園での枝打ち作業では、慣れない足場とのこぎりでの作業に四苦八苦しながらもしだいに上達していき、みるみるうちに枝が刈り取られ、見通しの良いきれいな山林になりました。この後、子ども達は木工体験や工場見学などを行いました。

今年も音楽で交流を深める

フレンドリーライブ2008



今金高等養護学校とその近隣の学校が、音楽を通して交流する「フレンドリーライブ（主催：北海道今金高等養護学校）」が毎年、同校で開催されております。今年は11月15日、今中吹奏楽部と檜山北高吹奏楽局、合唱部が集まり交流を深めました。

養護学校の全校生徒72名による合唱では、見事なハーモニーと息の合った手拍子などに会場から大きな拍手が贈られました。久米校長は「久しぶりに皆さんの演奏や合唱に会えて嬉しいです。」と話し、参加団体や来場いただいた方へ感謝の言葉を述べました。

人権バンドも参加してフレンドリーライブを盛り上げました



これまで花の植栽や植樹、人権教室などを実施して人権についての正しい理解を訴えてきた今金町人権擁護委員が、人権バンドを招いてのコンサートを企画し、この度、養護学校で開催されたフレンドリーライブの最終演目として実施されました。

人権バンドは、主に札幌近郊で活躍する「北方派五分楽団（ほっぽうはごぶがくだん）」のメンバーで、オリジナル曲を含む４曲を披露しました。最後の「翼をください」では、養護学校の生徒や会場の参加者らが、人権バンドと一緒に歌うなど会場が一つになり盛り上がりました。